

自己評価シート

実習指導者 確認印 (サイン可)	巡回・帰校日 指導教員確認 印 (サイン可)

○実習巡回時または帰校日指導時に記入し、指導教員の確認印をもらう。その後実習指導者に確認印をいただく。実習期間中は実習生本人が保管し、実習終了後は他実習書類と同封して事務局に提出する。

学籍番号	名前	記入日
		年 月 日

施設名	施設種別

評価内容

※各評価項目のA(十分達成されている)～D(ほとんど達成されていない)またはNA(非該当・未実施)のアルファベットを○で囲んでください。

評価項目 (参考:厚生労働省通知「ソーシャルワーク実習」の教育に含むべき事項)		十分達成され	さおれおてむいねる達成	れあてまりない達成さ	さほとんどの達成	未実該 非実該 または
実習生としての姿勢	1 あいさつや言葉遣い、服装・身だしなみ、体調管理など、組織で働く基本的態度を意識している	A	B	C	D	
	2 実習(勤務)時間や注意事項などの規則遵守ができています	A	B	C	D	
	3 実習記録やその他書類の的確な作成と、期限を守った提出ができています	A	B	C	D	
	4 実習生としての報告・連絡・相談が適切に行えている	A	B	C	D	
	5 実習指導者の指導・助言を積極的に求め、指導を真摯に受け止めることができています	A	B	C	D	
学習理解度	6 実習分野と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解ができています	A	B	C	D	NA
	7 社会福祉士の専門性やその業務に関する基本的な理解ができています	A	B	C	D	NA
	8 ソーシャルワークの価値規範と倫理、知識及び技術に関する理解ができています	A	B	C	D	NA
	9 個人のプライバシーの保護と守秘義務等の重要性が理解ができています	A	B	C	D	NA
	10 利用者やその関係者(家族、親族、友人等)への権利擁護活動への理解ができています	A	B	C	D	NA
	11 多職種連携およびチームアプローチの実践的理解ができています	A	B	C	D	NA
	12 実習施設・機関が地域社会の中で果たす役割と、具体的な地域社会への働きかけへの理解ができています	A	B	C	D	NA
	13 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成への理解ができています	A	B	C	D	NA
	14 社会資源の活用・調整・開発に関する理解ができています	A	B	C	D	NA
	15 チームマネジメントや人材管理含む、実習施設や法人等のサービス管理運営等の理解ができています	A	B	C	D	NA
実践学習理解度	16 社会福祉士としての職業倫理と、組織の一員としての役割と責任の理解ができています	A	B	C	D	NA
	17 実践に求められる技術の理解ができています (アウトリーチ、ネットワーキング、コーディネート、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション 等)	A	B	C	D	NA
	18 利用者との基本的なコミュニケーションを状況に応じて図ることができています	A	B	C	D	NA
	19 利用者との円滑な人間関係の形成ができています	A	B	C	D	NA
	22 利用者との援助関係の形成ができています	A	B	C	D	NA
	20 利用者の家族・親族・友人、または地域住民等との基本的なコミュニケーションや、円滑な人間関係の形成ができています	A	B	C	D	NA
	21 実習施設職員や関係機関との信頼関係を築き、連携・協働することができています	A	B	C	D	NA
	23 利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)を把握した支援計画の作成ができています	A	B	C	D	NA
24 利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)を踏まえた支援計画の実施と評価ができています	A	B	C	D	NA	
25 相談援助に携わる者として誠実な姿勢で物事に当たることができています	A	B	C	D	NA	

※本シートは実習生の学習習熟度の確認のため、実習指導者に開示します。